



Digital

 神戸新聞

広告デジタル制作・入稿ガイド

2017.05

神戸新聞社 営業局

〒650-8571

神戸市中央区東川崎町1丁目5-7

TEL (078) 362-7098

FAX (078) 362-7209

<https://www.kobe-np.co.jp>

はじめに

一般印刷に比べて高速で印刷を行う新聞印刷には、さまざまな印刷ルールがあります。そのため制作データをスムーズに新聞紙面に掲載するためにはそのため、制作データをスムーズに新聞紙面に掲載するためには、制作者の方が新聞印刷の知識やルールについて理解していただくことが不可欠です。

本ガイドでは、神戸新聞社にデジタル入稿を行う場合のさまざまな条件をまとめてみました。トラブルのないスムーズな原稿の受け渡しを行うために、このガイドラインを是非ご活用ください。

目次

1. 基本事項	3
広告の種類	3
入稿期日	3
広告サイズ	4
必要校正枚数	5
スポットカラーの原稿処理	5
オーバープリントの指定	5
入稿メディア	6
原稿データ確認書	6
バックアップ用の紙焼き原稿	6
ウィルスチェック	7
原稿の象嵌	7
RIP のシステム設定	7
2. 原稿制作	8
2-1 共通事項	8
DTP 環境	8
入力データ形式とファイル名	8
広告囲み罫	9
広告囲み罫がない広告	9
レジスターマークや不要なオブジェクト	10
使用する画像について	11
広告の色設定	12
細線最小サイズ	12
フォント	12
2-2 Illustrator	13
バージョン	13
画像の配置	14
パターン、ブラシ、グラデーション	15
レイヤー	15
アウトライン	15
新規機能	15
ファイルの保存	16
2-3 Photoshop	17
写真の再現性、階調について	17
ハーフトーンスクリーン	17
画像モードと解像度	17
画像の保存	18
プロファイルに関する初期設定	18
3. トラブル事例	19
入稿 MO に関する事例	19
ファイルの保存に関する事例	19
フォントに関する事例	19
原稿サイズに関する事例	20
画像に関する事例	20
4. 参考資料	23

基本事項

原稿制作

共通事項

原稿制作

Illustrator

原稿制作

Photoshop

トラブル事例

参考資料

1. 基本事項

■ 広告サイズ

※サイズはすべて刷寸です。

基本事項

広告原稿は以下のサイズで制作をお願いします。

モノクロ広告、フルカラー広告、スポット広告ともサイズは共通です。

ブランケット

縦サイズ		横サイズ	
15段	513mm	2連版	784mm
14段	479mm	全幅	380mm
13段	444mm	1/2	188mm
12段	410mm	1/3	124mm
11段	376mm	1/4	93mm
10段	341mm	1/5	74mm
9段	307mm	1/6	61mm
8段	273mm	1/8	45mm
7段	238mm		
6段	204mm		
5段	169mm		
4段	135mm		
3段	101mm		
2段	66mm		
1段	32mm		

タブロイド

縦サイズ		横サイズ	
11段	376mm	2連版	510mm
10段	341mm	全幅	245mm
9段	307mm	1/2	120mm
8段	273mm		
7段	238mm		
6段	204mm		
5段	169mm		
4段	135mm		
3段	101mm		
2段	66mm		
1段	32mm		

1. 基本事項

■ 必要校正枚数

◇神戸新聞

モノクロ ⇨ 1枚（従来通り）

フルカラー・スポットカラー⇨ 8枚（従来通り）

※最終出力物を確認用ゲラとして添付してください。また、色ゲラは印刷見本として使用するため、正確な色ゲラの添付をお願いします。

※校正ゲラにも掲載日、掲載媒体（神戸新聞朝・夕刊）、広告主名を明記してください。

■ スポットカラーの原稿処理

スポットカラーもフルカラーと同様に4色処理をお願いします。

■ オーバープリントの指定

オーバープリントの指定を行うと、当社 RIP では出力結果に異常が生じることがあります。出来るだけオーバープリントの指定は避けて下さい。

指定される場合は、事前に連絡を下さい。

1. 基本事項

- ◇ MO/Mac フォーマットの 640MB 以下の 3.5 インチ MO を使用する。
- ◇ CD-R/Mac フォーマットの 700MB 以下の CD-R を使用する (CD-RW は使用不可)
- ◇ USB メモリも使用可としますが、紛失のないよう大きなラベルを付けて下さい。

◇ 1メディアに1原稿を厳守してください。

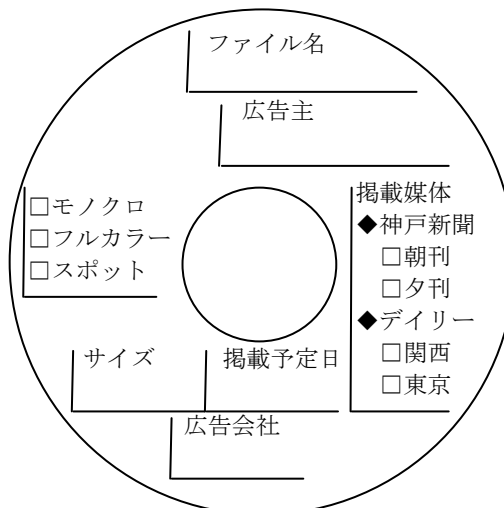
◇ メディアは必ずケースに収めて入稿願います。

◇ メディアにはファイル名、広告主、掲載媒体、掲載予定日、サイズ、広告会社を記入して下さい。

◇ 同様のラベルをケース内に収めて入稿願います。

ラベルの例

ファイル名	
広告主	
掲載媒体 <input checked="" type="checkbox"/> 神戸新聞 <input type="checkbox"/> 朝刊 <input type="checkbox"/> 夕刊	
<input checked="" type="checkbox"/> デイリー <input type="checkbox"/> 関西 <input type="checkbox"/> 東京	
サイズ	掲載予定日
<input type="checkbox"/> モノクロ <input type="checkbox"/> フルカラー <input type="checkbox"/> スポット	
広告会社	



■原稿データ確認書

制作側と出力側とのトラブルを防ぐためにも必要と思われます。必要事項を記入の上、メディアとともに入稿してください。(本ガイド最終ページの<掲載データ確認書_見本>をコピーしてお使いください)

1. 基本事項

■ ウイルスチェック

ウイルスはファイルの破壊をはじめ、新聞制作システムに決定的なダメージを与えるものも少なくありません。膨大な数のファイルが様々なコンピュータを経由する広告においては、ウイルス感染は絶対にあってはならないことです。入稿前に必ずチェックをお願いします。

■ 原稿の象嵌

完全原稿での入稿をお願いします。原則として新聞社での象嵌は行いません。

■ 当社 RIP のシステム設定

◇出力解像度=1200dpi

◇網線数=モノクロ：140線、単色：200線相当、カラー：200線相当

◇網角数=モノクロ：45度

カラー： C版—9度、M版—68度、Y版—22度、K版—39度

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■DTP 環境

◇本入稿ガイドは、Macintosh DTP を前提として作成しています。

◇ OS は MacOS8.0 以降を推奨します。

◇対応アプリケーション：

Adobe Illustrator CS4 まで

Adobe PhotoShop CS4 まで

原稿制作

共通事項

■入力データ形式とファイル名

◇配置画像を含む EPS 形式および N-PDF 形式にして下さい。

N-PDF の詳細は、日本広告業協会の「[新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF](#)」を参照の上、必ず制作者サイドでプリフライトチェックを行って下さい。

◇必ずフォルダを作成し、広告関連すべてのデータ（最終出力データ、配置された画像データ上記レイアウトソフトを使用している場合は、各アプリケーションのネイティブデータなど）をフォルダ内に保存してください。

◇最終出力物のファイル名の規約は以下の通りです。

神戸新聞3段 -N .eps

① ② ③

①任意の文字列（全角半角 OK ）

②カラーコード：モノクロ[-N]、カラー[-C]

③拡張子： .eps, .pdf

※ファイル名に機種依存文字などの特別な文字は使用しないで下さい。

（半角カナ、機種依存文字、第二水準漢字の後部、外字など）

◇PS チェック結果：

弊社 PS チェッカーで EPS 文法を解析します。不具合があった場合は PDF ファイルで結果をフィードバックすることも可能です。

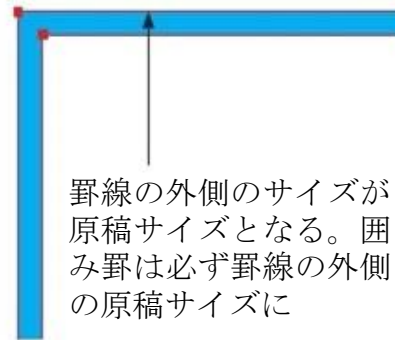
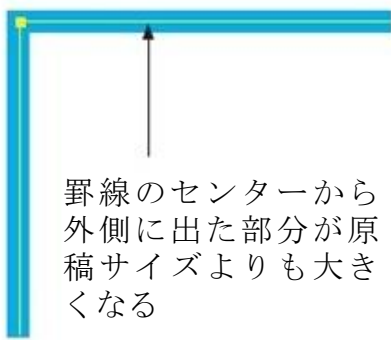
その結果に沿って再作成をお願いします。

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■ 広告囲み罫

広告囲み罫は必ずアウトライン化された罫の外側を原稿サイズとしてください。



原稿制作

共通事項

■ 広告囲み罫がない広告

RIP の仕様により、制作した実際のデータ範囲（上下左右それぞれ一番外側にあるデザイン）を基準として原稿データの抽出を行います。そのため囲み罫のない広告では空白部分が再現されずに拡大されて掲載されます。この拡大や偏倍を防ぐためには、広告規定サイズに合わせた“白”や“透明”の矩形を最下位レイヤーに配置してください。

正しい広告サイズ＝白や透明の矩形が背景に配置されている



波線枠内が白の矩形

拡大された広告＝白や透明の矩形がないと拡大されてしまう



2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■ レジスターマークや不要なオブジェクト

データ保存時は必ず広告イメージのみとしてください。レジスターマークやグレースケール、ガイドライン、色玉、孤立点などが存在すると原稿の一部と認識され、出力イメージが異なる原因となります。広告原稿以外の不要なデータは必ず削除してください。

原稿制作

共通事項



レジスターマークも原稿と認識されて出力される。



不要なオブジェクト（孤立点）が残っていたため、広告原稿の右側が余白となって出力される（図をわかりやすくするため孤立点を大きく表しています）

RIP 展開後の掲載サイズ

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■使用する画像について

◇画像のマスキング処理

画像データはあらかじめ **Photoshop** で適切な範囲にトリミングをしてください。マスクされた部分が大きいと重く無駄なデータとなり、処理に時間がかかります。



原稿制作

共通事項

◇画像の解像度

モノクロ二階調は出力時のモアレ防止のため出力解像度と同じ掲載実寸で **1200dpi**、モノクロ写真及びカラー写真は掲載実寸で **400dpi** に設定してください。

※一般的に写真の入力解像度は、出力網線数の2倍が推奨されています。したがって、モノクロで **280dpi** (140×2)、カラーでは **400dpi** (200×2) となり **400dpi** で十分と思われます。逆に **400dpi** 以上に設定されても、データが重くなるだけで印刷再現上に変化はありません。

◇特に必要がない場合は、画像にハーフトーンスクリーンやトランスファーカーブを埋め込まないようにしてください。

カラー画像に対する、ハーフトーンスクリーンやトランスファーカーブの埋め込みは厳禁です。

◇EPS データを EPS データ内に再配置するネスティングを2回以上行うことは、出力エラーの原因となります。

2. 原稿制作

2_1. 共通事項

■ 広告の色設定

◇モノクロ広告

グレースケールモードの1データで入稿ねがいます。

◇フルカラー広告

CMYK カラーモードの1データで入稿ねがいます。

RGB カラーは意図しない色で展開されるため厳禁です。

◇スポットカラー広告

CMYK カラーモードの1データで入稿ねがいます。

■ 細線最小サイズ

◇黒線 : 0.2pt

◇白線 : 0.6pt

■ フォント

広告のデジタル入稿における最も多いトラブルの一つにフォントのトラブルが挙げられます。当社の RIP には新聞協会推奨の 20 書体（すべて CID フォント）を搭載していますが、フォントによるトラブルを防止するためにも、

原稿内のフォントはすべてアウトライン化をお願いします。

2. 原稿制作

2_1. Adobe Illustrator

■バージョン

弊社 RIP は Illustrator ver.CS4 まで対応しています。

また、ver7.x はアプリケーションに不具合がある為使用は厳禁です。

※将来的に RIP がアップデートされ、Illustrator の対応バージョンが上がればご連絡させていただきます。

原稿制作

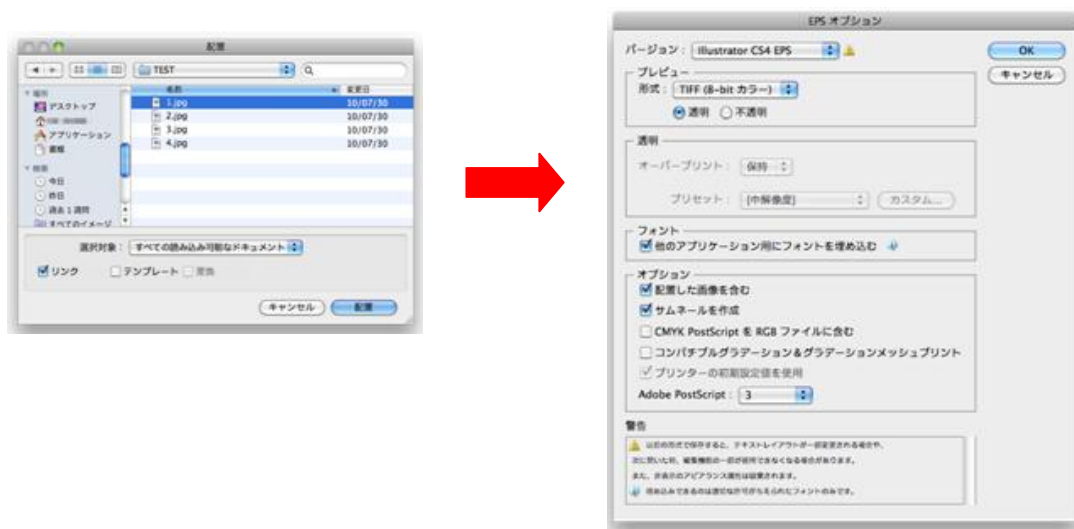
Illustrator

2. 原稿制作

2_1. Adobe Illustrator

■ 画像の配置

Illustrator に画像を配置する場合は必ずリンクにチェックし、配置画像を含むをチェックして保存してください。



原稿制作

Illustrator

2. 原稿制作

2_1. Adobe Illustrator

■ パターン、ブラシ、グラデーション

◇パターンやブラシで描画されたものは、出力エラーを予防するために分割・拡張コマンドですべてオブジェクト(アウトライン化)に変換しておくことを推奨します。

◇グラデーション、カラーブレンド、グラデーションメッシュを含むファイルはカラーバンドを生じさせたり出力できない場合があります。掲載実寸で 200dpi 程度の解像度でラスター化するか Photoshop で作成した画像を配置してください。

■ レイヤー

Illustrator8.0 を使用した場合、レイヤーごとにプリントするかどうかの設定機能がありますが、出力しないレイヤーはすべて削除してください。また、テンプレートレイヤーも使用しないでください。ファイルのプレビューと出力結果を一致させてください。

※不要なレイヤーは削除しておいてください。

■ アウトライン

複雑なオブジェクトやアンカーポイントの多いデータは出力エラーを起こす要因です。データの不要なアンカーポイントは削除してください。また、デザイン上許す限り複雑なオブジェクトの使用は控えてください。

2. 原稿制作

2_2. Adobe Illustrator

■ ファイルの保存

◇保存形式

必ず **IllustratorEPS** 形式で保存してください。

◇互換性

作成したバージョンと同じバージョンで保存してください。

◇配置画像

配置した画像を含むにチェックを入れてください。

◇CMYKポストスクリプト

チェックを外してください。

◇ポストスクリプトレベル

レベル3を選択してください。

◇サムネールを作成

どちらでも構いません。

◇フォントデータを含む

フォントはすべてアウトライン化のためどちらでも構いません。

◇プレビュー

いずれでも構いませんが、通常は **Macintosh 8bit カラー**。



原稿制作

Illustrator

2. 原稿制作

2_3. Adobe Photoshop

■写真の再現性、階調について

新聞印刷では比較的低粘度のインキで、一般的にザラ紙と呼ばれる紙に、高速オフセット輪転機で印刷しています。そのため一般商業印刷に比べ印刷再現性が見劣りすることは否めません。下記の項目は当社の印刷再現性を考慮した一応の目安です。写真処理の参考にしてください。

◇UCRはトータル250%以内で作成してください。

◇ドットゲインは50%前後で顕著に表れ、約25%程度階調が上がって再現され、85%を超えるとほとんどベタ黒となってしまいます。

■ハーフトーンスクリーン

ハーフトーンスクリーンの埋め込みは行わないでください。EPS保存時に「ハーフトーンスクリーン情報を含める」のチェックを外してください。

モノクロ画像に限り、デザイン上の理由で独自の網形状、角度、線数を設定する必要がある場合は、ハーフトーンスクリーンの埋め込みを行ってください。

カラー画像の場合、ハーフトーンスクリーンの埋め込みは厳禁です。

■画像モードと解像度

◇カラー

CMYK 400dpi

RGBやLabは意図しない色で展開されます。また、エラー誘発の原因にもなります。

◇モノクロ

グレースケール 280dpi

◇線画やロゴマーク

モノクロ二階調 1200dpi

2. 原稿制作

2_3. Adobe Photoshop

■画像の保存

◇保存形式

Photoshop EPS で保存してください。

◇プレビュー

任意で結構です。



◇エンコーディング

画像の劣化を防ぐため、バイナリを推奨します。

※ J P E G 保存の場合は<高画質>を推奨。

◇ハーフトーンスクリーン情報

チェックを外してください。

◇トランスファー関数を含める

チェックを外してください。

◇ポストスクリプトカラーマネジメント (6 及び 7.0)

チェックを外してください。

■プロファイルに関する初期設定

Photoshop EPS データを画像ファイルとして使用する場合、プロファイル設定は「プロファイルの埋め込み」のチェックをすべて外し、**プロファイルを埋め込まない設定**にしてください。

3. トラブル事例

■入稿メディアに関する事例

☆入稿されたメディア内に複数のフォルダが存在していたり、フォルダが何階層にも分かれており、掲載原稿が判別できない。

対応：1メディアに1原稿を厳守。必ず1階層のフォルダ内に収める。

■ファイルの保存に関する事例

☆入稿されたメディア内のファイルが見えない。

原因：EPS 保存がされずアプリケーションのネイティブデータで入稿されていた。

対応：必ず EPS 形式で保存する。

☆RIP 展開後に、ゲラを確認すると配置画像が消えていた。

原因：配置画像のリンク切れを起こしている。

対応：保存時には、配置画像を含むにチェックを入れ、最終出力物（出力原稿）、リンク画像、レイアウト素材などを同一フォルダに収める。

■フォントに関する事例

☆文字化けが発生した。

原因：RIP に搭載されていないフォントが、アウトライン化されていなかった。

対応：フォントのアウトライン化は原則。

☆文字間隔、改行位置などで不具合が発生した。

原因：OCF フォントと CID フォントが混在していた。

対応：1ファイル中にフォントを混在させない。

原因：Illustrator のバージョンにより、カーニングの値が異なる。

対応：同一環境、同一バージョンで原稿作成を。

3. トラブル事例

■原稿サイズに関する事例

☆作成した原稿が縮小されて出力される。

原因：原稿の枠外にトンボや孤立点など不要なオブジェクトが存在していた。

対応：不要なオブジェクトを消去する。

☆余白が付いて出力される。

原因：孤立点が存在しているか、画像ボックスやテキストボックスが規定サイズをはみ出している。

対応：孤立点の削除、画像ボックス、テキストボックスの修正。

■画像に関する事例

☆モノクロ広告にRGB画像が使用されていた。

原因：モノクロ写真をRGBでスキャニングしている。

対応：モノクロ広告の画像はグレースケールで。

☆カラー写真の再現性が悪い。

原因：写真がRGB画像になっていた。

対応：CMYK画像で再入稿を。

☆色が変わって出力される。

原因：ICCプロファイルが設定されていた。

対応：プロファイル埋め込みのチェックを外して画像を保存し直す。

☆外見上全く問題なく見えるがRIPエラーとなる。

原因：複雑なマスク処理をしていた。

対応：できるだけシンプルな構造にする。

3. トラブル事例

■画像に関する事例

☆R I P 演算に時間が掛かりすぎたり、出力エラーを起こす。

原因：Photoshop でトリミングをしていなくて、配置後に白矩形などで覆っていたり、大幅な拡大縮小がなされたりしていた。

対応：掲載実寸でトリミングを。

原因：複雑なグラデーションやブレンドを使用していた。

対応：掲載実寸で 400dpi 程度の解像度でラスターライズするか、Photoshop で作成した画像を配置する。

原因：画像解像度が極端に高い設定になっていた。

対応：写真の解像度は掲載実寸で 400dpi。

☆ロゴマークにジャギー、モアレが発生。

原因：解像度が適切でない。

対応：ロゴマークなどのモノクロ 2 階調は、掲載実寸で 1200dpi 。

原因：保存時に不要なオプションを選択している。

対応：プロファイルの埋め込みと、ポストスクリプトカラーのオプションを外して保存する。

☆オーバープリント指定部分の出力がおかしい。

原因：R I P の展開エラー。

対応：当社R I P はオーバープリントの展開を保証しておりません。
使用は控えて下さい。

4. 参考資料

■参考資料

『新聞広告デジタル制作・送稿ガイド Ver.2.0』社団法人日本広告業協会

『新聞広告デジタル送稿ガイドライン第 2.A 版』社団法人日本新聞協会

『新聞広告デジタル制作ガイド N-PDF ver. 1.1』社団法人日本広告業協会

『N-PDF 設定ファイル』社団法人日本広告業協会

■協力

NEC

■登録商標

Apple、Macintosh、MacOS、TrueType は AppleComputer,Inc の商標または登録商標です。

Adobe、Illustrator、Photoshop、PostScript は AdobeSystemsIncorporated の商標または登録商標です。

その他、記載されているすべてのブランド名、製品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

新聞原稿《掲載データ確認書》

掲載情報

ファイル名	.pdf .eps	掲載媒体	エリア
広告主	商品	広告会社	
送稿日 年 月 日	掲載予定日 年 月 日	<input type="checkbox"/> 朝刊	<input type="checkbox"/> 夕刊
送稿メディア	<input type="checkbox"/> 3.5MO <input type="checkbox"/> CD-R <input type="checkbox"/> USB		
原稿サイズ	段 / 天地 × 左右 ■■ <input type="checkbox"/> 組寸 <input type="checkbox"/> 刷寸 <input type="checkbox"/> 2連版		
色数	<input type="checkbox"/> スミ1色 (モノクロ原稿) <input type="checkbox"/> 4色カラー原稿 <input type="checkbox"/> スミ+特色 () (単色原稿)		
DS Checker	<input type="checkbox"/> 検査済み <input type="checkbox"/> デジタルセンド用にデータ書き出し <input type="checkbox"/> DS簡易ゲラを添付		

ファイル情報

アプリケーション	<input type="checkbox"/> Illustrator バージョン <input type="checkbox"/> 5.5J <input type="checkbox"/> 8.0.x <input type="checkbox"/> 9.0.x <input type="checkbox"/> 10.0.x <input type="checkbox"/> CS <input type="checkbox"/> CS 2 <input type="checkbox"/> CS 3 <input type="checkbox"/> CS 4
	<input type="checkbox"/> Photoshop バージョン <input type="checkbox"/> 3.0J <input type="checkbox"/> 4.0.x.J <input type="checkbox"/> 5.0.x <input type="checkbox"/> 5.5 <input type="checkbox"/> 6.0.x <input type="checkbox"/> 7.0.x <input type="checkbox"/> CS <input type="checkbox"/> CS 2 <input type="checkbox"/> CS 3 <input type="checkbox"/> CS 4
フォント	<input type="checkbox"/> フォントはすべてアウトライン化済み
その他	オーバープリント <input type="checkbox"/> 設定済み <input type="checkbox"/> 設定しない ※オーバープリント指定時は事前連絡
	トラッピング <input type="checkbox"/> 設定済み <input type="checkbox"/> 設定しない
	ハーフトーンスクリーン <input type="checkbox"/> 新聞社の設定値を使用する <input type="checkbox"/> ファイルの設定値を意図的に使用する

備考

チェック事項

制作担当 送稿担当

■ファイル名は半角英数字 27 文字以内 (全角の日本語 13 文字以内) で「.eps」または「.pdf」の拡張子が付いている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■孤立点やガイドライン、トンボなど不要なデータが残っていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■画像は全て正しくリンクしてファイルは1フォルダにまとまっている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■画像データは適切な解像度で、適切にトリミングされている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■画像、オブジェクト、フォントすべて色数に応じてプロセスカラー (CMYK) を使用している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■使用できないフォントはすべてアウトライン化またはラスタライズして原稿内に埋め込んでいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■ファイルは (画像を含めた) EPS または PDF 形式で保存されている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■Post Script プリンタによる原寸出力見本 (またはウェットプルーフ) を確認した	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■ウイルスチェックを行った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■メディアに必要事項を記入したラベルを貼った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
■N-PDF プリフライトチェックを行った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

広告会社 送稿担当者

電話番号

FAX番号

E-mailアドレス

制作 (製版) 担当者

電話番号

FAX番号

E-mailアドレス